

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
				C-K01	
授業科目名			授業形態		学科・コース
コミュニケーション活動 I			実技・演習		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	2	上杉 徳彦/島田 幸紀
授業の目的・到達目標					
球技大会やハイキング、各種展示会の見学、その他行事など、通常の教科の学習を越えた範囲のさまざまな学習活動を行う。校外での集団行動も多く、チームワークなど教室の授業では得られない学習効果が期待できる。コミュニケーション能力を向上させ、より良い人間関係を構築できるようになる。					
授業の概要					
各種行事（入学式・始業式・終業式・ハイキング・球技大会や展示会見学など）が科目として消化される。欠席しないことが大事である。					
成績評価の方法					
各行事への学習意欲で評価する。					学習意欲 100%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1.入学式			4		
2.新入生オリエンテーション			10		
2.ボーリング大会			4		
3.ハイキング			8		
4.防災訓練			2		
5.秋の遠足			8		
6.デジタルコンテンツEXPO			8		
7.スポーツフェスティバル			8		
8.始業式・終業式など			8		
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
				C-K02	
授業科目名			授業形態		学科・コース
コミュニケーション活動Ⅱ			実技・演習		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	90	3	青木 伴暢/島田 幸紀
授業の目的・到達目標					
始業式、終業式、卒業式など各種行事、および球技大会やハイキングなどの体育活動などを実施する。修学旅行も周囲に配慮しながら集団行動することを学ぶ絶好の機会であり、授業では得られない学習効果が期待できる。コミュニケーション能力を向上させ、より良い人間関係を構築できるようになる。					
授業の概要					
各種行事（入学式・始業式・終業式・ハイキング・球技大会や展示会見学など）が科目として消化される。欠席しないことが大事である。					
成績評価の方法					
各行事への学習意欲で評価する。					学習意欲 100%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 始業式・終業式など			8		
2. ボーリング大会			4		
3. ハイキング			8		
4. 防災訓練			2		
5. 秋の遠足			8		
6. スポーツフェスティバル			8		
7. 修学旅行			40		
8. 企業説明会・卒業式等			12		
その他				関連科目	

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
				C-K04	
授業科目名			授業形態		学科・コース
就職指導			講義・演習		コンピュータ科 プログラムコース
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	青木 伴暢
授業の目的・到達目標					
ほとんどの場合、仕事はチームワークで行われる。組織の中で新人として仕事を進める上でありがちな迷いや悩みごとをテーマとして挙げ、どう解決していくか、他社とのかかわり方、立ちふるまいを考え、個々の答えをもって行動できるようになる。					
授業の概要					
テーマに対してコミュニケーションワークを行い、グループ活動や発言を積極的に行う。 前半は就職活動についての成功体験をテーマとして発表を行い、傾聴する力も養う。 後半は新人として迷いの発生する場面を挙げ、どう行動すべきかグループワークで話し合う。					
成績評価の方法					
期末試験の結果、課題（レポート）、学習意欲を総合評価したうえで決定する。				期末試験	50%
				課題	30%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. グループコミュニケーションワーク 1			10		
2. 合同企業ガイダンス (学校主催)			8		
3. グループコミュニケーションワーク 2			12		
その他				関連科目	

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
				C-K04	
授業科目名			授業形態		学科・コース
就職指導			演習		コンピュータ科 ビジネスコース
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	松川 麻美
授業の目的・到達目標					
社会人にとって様々な年齢層や価値観の方と円滑に仕事をするために必須となる「ビジネスマナー」や「コミュニケーション」の取り方を知識だけでなくロールプレイングし、習得する。					
授業の概要					
「電話の取り次ぎ」や「名刺交換」など基本的なビジネスマナーをロールプレイングし体得する。また、ビジネスで起こりうるミスや失敗などの事例を取り上げ、各場面の対応方法を身につけていく。					
成績評価の方法					
授業に取り組む姿勢や ロールプレイングの正確性・柔軟性を判定する。				課題	30%
				学習意欲	70%
使用テキスト・教材					
社会人のための基本のビジネスマナー ナツメ社					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1 挨拶と立ち居ふるまい			2		
2 会社での働き方			6		
3 電話応対と伝言メモ			4		
4 来客応対とお茶の出し方			4		
5 訪問と名刺交換			4		
6 ビジネスメールと文書のルール			4		
7 手紙や封筒、FAX のマナー			2		
8 会議と議事録			2		
9 会食のマナーと冠婚葬祭			2		
その他				関連科目	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	C-K05
授業科目名		授業形態		学科・コース	
コミュニケーション技法		演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	2	寺尾 寿樹
授業の目的・到達目標					
<p>伝えたいことを自分の意見としてまとめ、相手に伝わる発表ができるようにする。さらにプレゼンテーションツールを活用して、実践的で視覚的なプレゼンテーション作成方法を学習する。 PowerPoint を活用して、自分についてのプレゼンテーションができるようになる。</p>					
授業の概要					
<p>ビジネスの現場において求められる口頭による説明（報告・連絡・相談・確認等）やわかりやすく伝えるためにおさえておきたいポイントを確認し、相手に理解してもらうために必要な各自の表現力（伝える力）のスキルアップを発表や他人のパフォーマンスから気づきや発見を通して学んでいく。</p>					
成績評価の方法					
<p>課題内容の評価だけでなく、提出状況及び発表時の個別のパフォーマンスの評価を行うとともに日頃の授業に対する取り組みの姿勢を加味して評価する。</p>					<p>課題 85% 学習意欲 15%</p>
使用テキスト・教材					
<p>① 30時間でマスタープレゼンテーション+PowerPoint2016（実教出版） ② 伝える力が身につく本～プレゼンテーション～（日経BP社） ③ プリント資料（担当教員自作）</p>					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. オリエンテーション			2		
2. プレゼンテーションとは			2		
3. PowerPointの基本的な使い方			2		
4. 課題制作1			4		
5. 発表1			4		
6. 課題制作振り返り・修整・提出			2		
7. 課題制作2			6		
8. 発表2			4		
9. 課題制作振り返り・修整・提出			2		
10. まとめ			2		
その他			関連科目		
<p>*科目の性質上、個別に取り組む課題作成において、不明点や疑問点の解消等グループ・ペアでの取り組みを実施、気づきや発見の機会を生み出すように促す。</p>					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	C-K06
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ビジネスマナー		講義		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	2	寺尾 寿樹
授業の目的・到達目標					
<p>目的：社会で喜ばれ役立つ人になるために必要なヒューマンスキル（人間力）向上のため</p> <p>目標：就職活動をするためだけでなく社会人として最低限おさえておきたいビジネスマナーのポイントを各自意識し、実践できるレベルにまで引き上げる</p>					
授業の概要					
現在の自分の常識力や把握しておくべきビジネスマナーを確認していく。社会で働く上でも必要なコミュニケーションスキル向上に磨きをかけるべく演習をおこなう。授業での課題を通じて、自分は今何をすべきか？自分に今できることは何か？を自分で考え行動できる人になるための基礎力を養成する。					
成績評価の方法					
筆記試験の結果と課題内容及び提出状況、学習意欲等取り組みの姿勢を加味して成績評価を行う。				期末試験	50%
				課題	35%
				学習意欲	15%
使用テキスト・教材					
① 「新社会人の教科書」(株)学研プラス ② 「社会人の常識 敬語ドリル」(株)語研 ③ プリント資料 (担当教員自作)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.オリエンテーション		2	7. テーマ別グループディスカッション (集団討論) の実践演習		2
2.取材カード等による伝えるために必要な情報収集とコミュニケーション技法の習得		2	8. 資料映像等の視聴とレポート作成および発表・情報のシェアリング		2
3.自己理解のための演習 (自己分析・アセスメントツール実施と解説・自己PR準備)		2	9. 発声・滑舌・ボイストレーニングの実践演習		2
4.挨拶・言葉遣い・立ち居振る舞い・ビジネス上の基本的な心構え・マナー力の養成		2	10. インターンシップ及び就職活動に役立つ応募書類作成 (添削指導含)		4
5. ビジネス用語・ビジネス文書・ビジネスメールの作成等ビジネススキルの養成		2	11. 模擬面接トレーニング (1)		2
6.ビジネス電話の応対：基本的な流れの確認とロールプレイング (実践演習)		2	12. 模擬面接トレーニング (2)		2
			13. 筆記テストおよびまとめ		4
その他		関連科目			
*筆記試験対策としてミニテスト方式で知識の確認を実施					
*1分間スピーチを実施：プレゼンテーション能力の向上					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	C-K07
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Officeアプリケーション基礎		演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	60	2	島田 幸紀
授業の目的・到達目標					
Microsoft Office 2016 の Word と Excel の基礎を習得する。Word・Excel の操作及び演習を通して、それぞれのアプリケーションの理解を深める。ビジネス文書作成、関数を使った表作成、VBA を使った簡単なプログラムが理解できるようになる。					
授業の概要					
Word では、様々な機能を習得し、最終的に簡単な表と図などが含まれたビジネス文書を作成することが出来るようになる。Excel では、基礎的な関数、少し高度な関数 (IF・VLOOKUP) の習得、グラフ、データベース機能、VBA の基礎について学習し、基本情報処理試験、ITパスポート試験の表計算分野の問題が解ける力を身に付ける。					
成績評価の方法					
学習意欲、演習課題の評価点を総合評価したうえで決定する。演習課題については、要求された課題を、決められた期日までに提出することが最低条件である。					課題 80% 学習意欲 20%
使用テキスト・教材					
30時間でマスター Word&Excel2016 (実教出版) 演習課題 (自作)					
授業内容・授業計画					
Word		時間数	Excel		時間数
1.書式設定		3	1.書式設定、演算、統計関数		4
2.表作成		3	2.絶対参照、RANK 関数		3
3.ビジネス文書フォーマット		3	3.VLOOKUP 関数		4
4.図形・画像処理		3	4.IF 関数		4
5.演習問題		4	5.グラフ作成		2
6.課題作成		4	6.データベース機能		3
			7.マクロ作成		5
			8.簡単な VBA 作成		5
			9.演習問題		5
			10.試験対策		5
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	C-K08
授業科目名		授業形態		学科・コース	
情報基礎理論		講義		コンピュータ科 プログラムコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	坂本 登喜雄
授業の目的・到達目標					
基本情報技術者試験におけるハードウェア分野において、合格に十分な得点を取ることを目標とする。 2進数～16進数の基礎的な計算、基数返還ができる。 コンピュータの五大装置について理解し、その役割を説明できる。					
授業の概要					
情報および情報処理の基礎を学ぶ。特に2進数、8進数、16進数の取り扱いや基数変換をはじめ、コンピュータの五大装置や文字コード、文字や数値表現など、基本的な仕組みを学習する。					
成績評価の方法					
試験結果および授業態度等を勘案して総合評価する。				期末試験	90%
				学習意欲	10%
使用テキスト・教材					
「ITワールド」(インフォテック・サーブ) 「ITワールド・サブノート」(インフォテック・サーブ)					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. コンピュータの基本構成					
1-1. コンピュータの歴史			4		
1-2. コンピュータの五大装置			4		
2. コンピュータのデータ表現					
2-1. データの表現			8		
2-2. 基数と基数変換			8		
2-3. データの表現形式			4		
期末試験			2		
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
				C-K08	
授業科目名			授業形態		学科・コース
情報基礎理論			講義		コンピュータ科 ビジネスコース
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	島田 幸紀
授業の目的・到達目標					
<p>基本情報技術者試験におけるハードウェア分野において、合格に十分な得点を取ることを目標とする。 2進数～16進数の基礎的な計算、基数返還ができる。 コンピュータの五大装置について理解し、その役割を説明できる。</p>					
授業の概要					
<p>情報および情報処理の基礎を学ぶ。特に2進数、8進数、16進数の取り扱いや基数変換をはじめ、コンピュータの五大装置や文字コード、文字や数値表現など、基本的な仕組みを学習する。</p>					
成績評価の方法					
試験結果および授業態度等を勘案して総合評価する。					期末試験 80% 学習意欲 20%
使用テキスト・教材					
<p>「ITワールド」(インフォテック・サーブ) 「ITワールド・サブノート」(インフォテック・サーブ)</p>					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. コンピュータの基本構成					
1-1. コンピュータの歴史			4		
1-2. コンピュータの五大装置			4		
2. コンピュータのデータ表現					
2-1. データの表現			8		
2-2. 基数と基数変換			8		
2-3. データの表現形式			4		
期末テスト			2		
その他				関連科目	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	C-K09
授業科目名		授業形態		学科・コース	
コンピュータシステム		講義		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	60	4	海野 萌
授業の目的・到達目標					
現在、私たちが生活している社会は「情報化社会」と呼ばれており、情報処理の知識は必要不可欠なものとなっている。ハードウェア・情報処理システム・ソフトウェアの基本的な知識を学ぶ。基本情報処理技術者試験の取得に必要な知識を習得し、対象範囲の問題に対応できるようになる。					
授業の概要					
コンピュータの基本構成、情報処理システムの処理形態、ソフトウェアの分類等、情報処理の基本的な用語や役割を学ぶ。毎回授業内で行う小テストで、理解力を深める。					
成績評価の方法					
試験結果および出席状況、授業態度等を勘案して総合評価とする。				期末試験	80%
				課題	10%
				学習意欲	10%
使用テキスト・教材					
ITワールド (インフォテックサーブ)					
授業内容・授業計画					
			時間数		
第1部 ハードウェア					
第3章 中央処理装置と主記憶装置			10		
第4章 補助記憶装置			10		
第2部 情報処理システム					
第1章 情報処理システムの処理形態			8		
第2章 高信頼化システムの構成			8		
第3章 情報処理システムの評価			8		
第4章 ヒューマンインターフェース			8		
第5章 マルチメディア			8		
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	C-K10
授業科目名		授業形態		学科・コース	
データベース基礎		講義		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	梅原 孝仁
授業の目的・到達目標					
<p>基本情報技術者試験におけるデータベース分野において、合格に十分な得点を取ることを目標とする。 データベースの概念設計から物理設計までの概要とDBMSに対する概要を理解している。 SQLを利用した基礎的なデータ操作を実行でき、机上の問いに答えることができる。</p>					
授業の概要					
<p>関係データベースを中心に、データモデルとデータベースシステムの基本概念を理解し、データ設計(正規化)やデータ操作(SQL)、データ管理の原則と方法を学習する。 また、授業範囲と対応する基本情報技術者試験の午前問題集を活用し、問題を解く力をつける。</p>					
成績評価の方法					
試験結果および授業態度等を勘案して総合評価する。				期末試験	80%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
「ITワールド」(インフォテック・サーブ) 「ITワールド・サブノート」(インフォテック・サーブ)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. データベースの概要			3. いろいろなデータベース		
1-1. データベースとファイルの違い		4	3-1. 分散データベース		2
1-2. データベースの設計		4	3-2. データウェアハウス		2
1-3. データベース管理システム		4	3-3. その他の関連技術		2
中間テスト		2	期末テスト		2
2. SQL					
2-1. データ定義		4			
2-2. データ操作		4			
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)				年度	
時間数は45分換算				2020年度	
				科目コード	
				C-K11	
授業科目名			授業形態		学科・コース
ネットワーク基礎			講義		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	坂本 登喜雄/高木 健至
授業の目的・到達目標					
インターネットに代表される、コンピュータネットワークの基礎知識を学び、ネットワーク構築技術を習得する。基本情報処理技術者試験の取得に必要な知識を習得し対象範囲の問題に対応できるようになる。					
授業の概要					
ネットワークの基礎技術と、プロトコルを始めとするアーキテクチャに関する知識から、我々の生活を支える社会基盤となっているLAN、インターネットの仕組みを学習する。					
成績評価の方法					
試験結果および出席状況、授業態度等を勘案して総合評価する。					期末試験 90% 学習意欲 10%
使用テキスト・教材					
ITワールド (インフォテック・サーブ)					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 第1章 ネットワークの仕組み			6		
2. 第2章 ネットワークアーキテクチャ			6		
3. 第3章 LAN			6		
4. 第4章 インターネット			8		
5. 第5章 ネットワーク管理			2		
6. 期末試験			2		
その他				関連科目	
*実務経験のある教員が担当する科目である					

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
				C-K12	
授業科目名			授業形態		学科・コース
システム開発基礎			講義		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	坂本 登喜雄
授業の目的・到達目標					
情報処理技術者試験の基本処理技術者試験の経営戦略及びマネジメントに関する分野（企業と法務、経営戦略、情報システム戦略、開発技術）を学習する。基本情報処理技術者試験の取得に必要な知識を習得し対象範囲の問題に対応できるようになる。					
授業の概要					
情報処理技術に関連した、下記の分野を学習する。 <ul style="list-style-type: none"> ・企業と法務 ・経営戦略 ・情報システム戦略 ・開発技術 					
成績評価の方法					
試験結果に、学習意欲を加算して、総合評価する。					期末試験 90% 学習意欲 10%
使用テキスト・教材					
IT戦略とマネジメント（インフォテックサーブ）					
授業内容・授業計画					
1. 第1部 企業と法務			時間数	時間数	
第1章 企業活動			16		
第2章 企業会計					
第3章 経営科学					
第4章 法務と標準化					
3. 第3部 情報システム戦略			4		
4. 第4部 開発技術			8		
5. 試験			2		
その他				関連科目	
*実務経験のある教員が担当する科目である					

シラバス (授業概要)				年度		
				2020年度		
				科目コード		
				C-K13		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
コンピュータテクノロジー			講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	60	4	青木 伴暢	
授業の目的・到達目標						
情報分野を学ぶ者にとって、実際のコンピュータ製品を理解することは重要なことである。 CompTIA ITF+ 試験で問われる内容に対応できるようになる。						
授業の概要						
テキストの単元に沿って進めていく。ハードウェア、ソフトウェア、周辺機器等については、テキストだけでなく各種パーツの実物に触れることで、より理解度を深める。また、単元終了ごとに小テストを行い、単語やキーワードの理解、定着を図る。						
成績評価の方法						
小テスト、CompTIA ITF+ 試験結果および出欠席状況、授業態度等を勘案して総合評価する。				期末試験	60%	
				課題	20%	
				学習意欲	20%	
使用テキスト・教材						
CompTIA ITF+ StudyGuide (e-book)						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. コンピュータのしくみ			6	5. ネットワーク		8
2. コンピュータのハードウェア			8	6. セキュリティ		8
3. コンピュータの周辺機器			6	7. IT リテラシー		8
4. ソフトウェア			8	8. CompTIA ITF+試験		8
その他				関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	C-K14
授業科目名			授業形態		学科・コース
ホームページ制作演習			演習		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	磯部 勉
授業の目的・到達目標					
Web サイト制作に必要な HTML5、CSS3 によるコーディング方法を学習する。教員が提示するサンプルをもとに、Web ページを1ページ作成できるようになる。					
授業の概要					
あらゆる Web 制作において、HTML5、CSS3 は必須の知識であり、Web 系の基礎科目として非常に重要な授業となる。本授業では、サンプルページを制作しながら実践的に言語を学ぶため、欠課数が増えると、試験の結果に大きく影響する。ブラウザによる動作確認、教材の事典を用いながら、単語の意味を理解していくことが大切である。					
成績評価の方法					
授業ごとの課題提出を最大評価する。与えられた課題に積極的に取り組むことでページ構造の理解と作成技術が身についたことを示せば優とする。					課題提出 80% 学習意欲 20%
使用テキスト・教材					
・サンプルページ見本 (担当教員自作)					
授業内容・授業計画					
			時間数	時間数	
1. オリエンテーション			1		
2. ボックスレイアウト					
3-1. 1カラム			3		
3-2. 2カラム			4		
3. サンプルページ制作					
4-1. header			3		
4-2. nav			3		
4-3. main			2		
4-4. section・article			4		
4-5. aside (sidebar)			2		
4-6. footer			2		
4. ページデザイン			2		
5. ページ制作			4		
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	C-K15
授業科目名		授業形態		学科・コース	
情報セキュリティ		講義		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	90	2	坂本 登喜雄/高木 健至
授業の目的・到達目標					
インターネットを中心に発展した情報技術のうち、情報セキュリティに関する基礎的知識及び技術を理解する。 基本情報処理技術者試験の取得に必要な知識を習得し対象範囲の問題に対応できるようになる。					
授業の概要					
公開鍵暗号技術を中心にした現在の情報セキュリティ基盤を学習し、その概要を理解する。また、情報セキュリティ対策を、人的対策、技術的対策及び物理的対策毎に学習する。 基本情報技術者試験、ITパスポート試験対策として、問題集のうち情報セキュリティ問題を実施する。					
成績評価の方法					
試験結果に、学習意欲を加算して、総合評価する。				期末試験	90%
				学習意欲	10%
使用テキスト・教材					
ITワールド (インフォテックサーブ)					
授業内容・授業計画					
第1章 情報セキュリティの概要		時間数	第2章 情報セキュリティ対策		時間数
1. 1-1 情報セキュリティの概要		4	5. 2-1 人的セキュリティ対策		4
2. 1-2 情報セキュリティ技術		8	6. 2-2 技術的セキュリティ対策		4
3. 1-3 情報セキュリティ管理		5	7. 2-3 物理的セキュリティ対策		4
4. 1-4 情報セキュリティ期間・評価基準		5	8. 2-4 セキュリティ実装対策		4
			9. MTA 試験対策		52
その他			関連科目		
*実務経験のある教員が担当する科目である					

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
				C-K16	
授業科目名			授業形態		学科・コース
IT戦略			講義		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	島田 幸紀
授業の目的・到達目標					
情報マネジメントとシステム監査と内部統制について学習する。プロジェクトマネジメント、サービスマネジメントの手法やマーケティング手法を中心に学習する。基本情報技術者試験、ITパスポート試験の合格を目指す。ストラテジ・マネジメント関連の話題が理解できるようになる。					
授業の概要					
基本情報技術者試験、ITパスポート試験の範囲であるストラテジ・マネジメント分野の基本的な用語や役割を総合的にまとめる。单元ごと基礎用語の理解度を図る小テストを実施するため家庭での自主学習も必要である。					
成績評価の方法					
单元ごとに実施する小テストの結果、過去試験問題結果、学習意欲と授業態度を勘案して総合評価する。					期末試験 80% 学習意欲 20%
使用テキスト・教材					
IT戦略とマネジメント (インフォテック・サーブ)					
授業内容・授業計画					
			時間数		
第1部 企業と法務				第3部 情報システム戦略	
第1章 企業活動			3	第1章 情報システム戦略の概要	
第2章 企業会計			3	第2章 情報システム企画	
第3章 経営科学			3		
第4章 法務と標準化			3		
第2部 経営戦略					
第1章 経営戦略マネジメント			4		
第2章 技術戦略マネジメント			4		
第3章 ビジネスインダストリ			4		
その他				関連科目	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	C-K16
授業科目名		授業形態		学科・コース	
IT戦略		講義		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	坂本 登喜雄
授業の目的・到達目標					
情報マネジメントとシステム監査と内部統制について学習する。プロジェクトマネジメント、サービスマネジメントの手法やマーケティング手法を中心に学習する。基本情報技術者試験、ITパスポート試験の合格を目指す。ストラテジ・マネジメント関連の話題が理解できるようになる。					
授業の概要					
基本情報技術者試験、ITパスポート試験の範囲であるストラテジ・マネジメント分野の基本的な用語や役割を総合的にまとめる。单元ごと基礎用語の理解度を図る小テストを実施するため家庭での自主学習も必要である。					
成績評価の方法					
单元ごとに実施する小テストの結果、過去試験問題結果、学習意欲と授業態度を勘案して総合評価する。				期末試験	80%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
IT戦略とマネジメント (インフォテック・サーブ)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
第4部 開発技術			第7部 システム監査と内部統制		
第1章 システム開発技術	3	第1章 システム監査	3		
第2章 ソフトウェア開発技術	3	第2章 内部統制	3		
第3章 システム開発環境	3				
第4章 Webアプリケーション開発	3				
第5部 プロジェクトマネジメント					
第1章 プロジェクトマネジメントの概要	3				
第2章 プロジェクトマネジメントのプロセス	3				
第6部 サービスマネジメント					
第1章 サービスマネジメントの概要	3				
第2章 サービスマネジメントの手法	3				
その他		関連科目			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	C-K17
授業科目名		授業形態		学科・コース	
卒業研究		実習		コンピュータ科 プログラムコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	240	8	上杉 徳彦/青木 伴暢
授業の目的・到達目標					
本校で学習した知識と技術を使用し、自分の興味ある分野のプログラム作成、又は技術の研究を行う。自らの意思で目的を設定し、設定した目的を達成する計画を立てることができる。計画に沿って作業を進め、目的を達成するための成果物を作成することができる。					
授業の概要					
卒業研究の内容に対して、下記の助言及び相談を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・データベース連携 ・セキュリティ対策 ・プロジェクトマネジメント ・ネットワーク技術 ・オブジェクト指向設計 					
成績評価の方法					
完成した卒業研究内容から総合評価を行う。				提出物	40%
				学習意欲	20%
				発表	40%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. メンバー決定		2	4. 企画書作成(方式・詳細設計)		
2. テーマ選定			4-1. 各種設計図作成		20
2-1. テーマ出し		4	4-2. 企画書レビュー②		4
2-2. テーマレビュー		4	4-3. 企画書修正		20
2-3. テーマ修正		4	5. 成果物作成・中間発表資料作成		74
3. 企画書作成(目的・要件定義・画面設計)			6. 中間発表		4
3-1. 研究目的の設定		4	7. 成果物作成・本番発表資料作成・論文執筆		60
3-2. 要件定義		4	8. クラス内発表		4
3-3. 画面設計		8	9. 本番発表		4
3-4. 企画書レビュー①		4			
3-5. 企画書修正		16			
その他		関連科目			

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
				C-K17	
授業科目名			授業形態		学科・コース
卒業研究			演習		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	240	8	島田 幸紀
授業の目的・到達目標					
<p>これまでに学んだスキルを活かした作品制作、または授業で習得していないツールなどを使用し、独自に研究をすすめた作品制作など、コンピュータ科にて2年間学習してきた成果を発揮できるようになる。</p>					
授業の概要					
<p>2年間の学習成果をまとめるための総合的な研究を行う。各種開発ツールを駆使した、システム開発・マルチメディアソフト・ネットワーク対応ソフト、オフィス簡易プログラムを制作し、研究レポートにまとめ、作品発表会を行う。</p>					
成績評価の方法					
作品、提出物、プレゼンテーションおよび学習意欲を総合評価する。					提出物 80% 学習意欲 20%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1.企画、要件定義、レビュー			20		
2.外部設計、内部設計、レビュー			20		
3.プログラム設計、プログラミング			120		
4.中間発表			10		
5.プログラムの修正			30		
6.各種ドキュメント作成			20		
7.リハーサル			10		
8.研究発表			10		
その他				関連科目	

シラバス (授業概要)				年度		
				2020年度		
				科目コード		
				C-K18		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
特別講義 I			講義・演習		コンピュータ科 プログラムコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	30	2	上杉 徳彦	
授業の目的・到達目標						
C 言語の基本的な内容を学習し、サーティファイ社 C 言語検定 3 級合格を目指す。 基本的なプログラム作成が出来るようになる。						
授業の概要						
Visual Basic との違いや、C 言語の特徴、多用される関数を修得する。 実習ではノートパソコンにてコマンド入力を用いたコンパイル環境と実行環境を構築し、C 言語検定 3 級の範囲に相当するプログラム作成を行う。						
成績評価の方法						
試験結果および出席状況、実習課題の提出結果、授業態度等を勘案して総合評価する。				期末試験	60%	
				課題	10%	
				学習意欲	30%	
使用テキスト・教材						
入門 ANCI-C 実教出版						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1.環境作成 helloworld			2	8.if 文、if 文のネスト		2
2.特徴 歴史 他言語との比較			2	9.switch 文		2
3.記述、概要 変数、変数名、データ型			2	10.do-while 文、break 文、continue 文、配列、配列の宣言		2
4.データ型 サイズ、char 型とアスキーコード、修飾子			2	11.文字と文字列、論理演算の短絡評価		2
5.変数と定数 定数の型指定 ここまでのおさらい			2	12.2次元配列、宣言、宣言時に初期化、C 言語 3 級問題		2
6.画面出力、出力関数、書式指定子			2	13.プリプロセッサ		2
7.代入演算子、算術演算子、比較演算子、優先順と評価順			2	14.ライブラリ関数		2
			2	15.C 言語 3 級問題演習		2
その他				関連科目		

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
				C-K18	
授業科目名			授業形態		学科・コース
特別講義 I			参加型講義		コンピューター科 ビジネスコース
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	八木 禎実
授業の目的・到達目標					
自分の進路が決定しないまでも生き方や思いが自分の中で芽生え目標が定まり、どのように生きていくのか模索しながらも自立できるように促し導く。自分で達成する力を築く。職業への興味よりも社会に出たあとに潰れない自己実現へのたくましさを養う。					
授業の概要					
なぜ人は寂しくなると怒るのか?自分が他人からどう思われているのか?自分の成りたい自分は、どういったタイプなのか?後悔しないために今できる最前線の方法を学ぶことで人と付き合うことが嫌でなくなる心にチェンジしていく。自分だけを愛すのではなく他人とうまく付き合う方法を知る。自己中心的から協調性のある人財へと成長できる内容です。気づき→自発性→親密さ3つのステップ					
成績評価の方法					
まずは授業に参加することが大事で自分の思いを他者に伝えられる事必須				期末試験	20%
				課題	10%
				学習意欲	70%
使用テキスト・教材					
ギスギスした人間関係をまーるくする心理学 安部朋子著 西日本出版社発行					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
ストローク 心を元気にする仕組み		2	ストレスを回避するには		2
欠点や自分の嫌いな部分を長所に移行する		2	OK 牧場とは		2
自我状態 今ここでの自分を知る		2	OK 牧場の活用方法		2
自己実現への階段の仕組み		2	ラケット感情		2
自我状態モデル		2	心理ゲーム		2
対話分析 やりとり		2	グレースタンプとゴールドスタンプ		2
相補交流 裏面交流 交差交流		2	人生脚本ライフスプリクト		2
OK 牧場		1	禁止令		1
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	C-K19
授業科目名		授業形態		学科・コース	
特別講義Ⅱ		演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	2	島田 幸紀
授業の目的・到達目標					
業務データを分析し、ビジネスの現状や課題を把握した上で、表やグラフを用いた的確な経営分析資料を作成する。チーム単位での演習を通して、ビジネス遂行に必要な「報告・連絡・相談」、「情報共有スキル」を習得することを目的とする。					
授業の概要					
株式会社 KIDA-LA の「売上・利益率・業務効率の向上につながる施策」や「経費削減につながる施策」について多くの資料から読み取り施策を考える。店舗別の売上と顧客単価の比較、曜日や時間帯、天気や気温による売上の比較、売上アップ、経費削減、業務効率のいずれかの視点で作成した資料と改善提案をまとめて、発表できるようにする。					
成績評価の方法					
結果および授業態度等を勘案して総合評価する。				資料制作	20%
				成果発表	70%
				学習意欲	10%
使用テキスト・教材					
情報分析演習 株式会社インフォテック・サーブ出版					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
Lesson1 : Excel の基本操作		4	Lesson9 : 資料作成演習①		6
Lesson2 : 表の作成			Lesson10 : データベース機能		
Lesson3 : 表の編集			Lesson11 : 便利な機能		
Lesson4 : 絶対参照			Lesson12 : Windows の基本		
Lesson5 : 関数の利用①		4	Lesson13 : 資料作成演習②		4
Lesson6 : 関数の利用②			Lesson14 : データ分析演習 課題作成		6
Lesson7 : グラフの作成		2	Lesson15 : 情報分析演習 発表・評価		4
Lesson8 : 印刷					
その他			関連科目		
企業連携授業					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	C-K20
授業科目名		授業形態		学科・コース	
アルゴリズム		講義・演習		コンピュータ科 プログラムコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	選択A 選択者必修	60	4	青木 伴暢
授業の目的・到達目標					
<p>プログラムを構築するためには、効率よくトレースしやすい処理手順を考えなくてはならない。3つの基本構造を理解し、配列による集計や、並び替えなど様々な処理手順を理解する。基本情報処理技術者試験の取得に必要な知識を習得し対象範囲の問題に対応できるようになる。</p>					
授業の概要					
<p>データ構造とアルゴリズムについて学習する。フローチャートの作成やトレース、よりプログラムに近い疑似言語を学習する。 また、基本情報技術者試験で必要なアルゴリズム分野を学習する。</p>					
成績評価の方法					
小テスト、試験結果および出席状況、授業態度等を勘案して総合評価する。				期末試験	60%
				課題	30%
				学習意欲	10%
使用テキスト・教材					
アルゴリズム はじめの一步 完全攻略 技術評論社					
授業内容・授業計画					
			時間数		
ウォーミングアップ			4		
ループと配列の基本と線形探索			4		
二分探索と計算量			4		
多重ループと挿入法			8		
基本情報技術者試験 午前対策			12		
連結リストの仕組みと操作			4		
二分探索木への追加と探索			4		
ハッシュ表探索法			4		
再帰呼び出しとクイックソート			4		
基本情報技術者試験 午後対策			10		
期末試験			2		
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
				C-K21	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
プログラム言語 I		講義・演習		コンピュータ科 プログラムコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	選択A 選択者必修	120	4	上杉 徳彦
授業の目的・到達目標					
マイクロソフト社製の開発環境を用いて、プログラミングの学習を行う。 文法の理解から始め、Windows プログラミングとはどのようなものなのかを理解しながら、さまざまなアプリケーションを開発できるようになる。					
授業の概要					
Windows プログラミング言語として、VisualBasic を学習する。 フォーム上へのコントロール (部品) の配置や、プロパティ (部品の性質) の設定、イベントによる処理手順 (イベントハンドラー)、プロシージャの作成方法を学習する。					
成績評価の方法					
試験結果および課題提出、出欠席状況や授業態度等を勘案して総合評価する。				期末試験	20%
				課題	60%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・3ステップでしっかり学ぶ Visual Basic 入門 技術評論社 ・演習問題(自作) 					
授業内容・授業計画					
			時間数		
第1章 プログラムとは何か?			2	第11章 クラス	
第2章 プログラムを作成しよう			2	第12章 お絵かきプログラムの作成	
第3章 イベントを理解する			4	第13章 ファイルIO	
第4章 プログラムの実行順序を確認しよう			4	グループ演習・発表	
第5章 演算と変数			4		
第6章 型と戻り値			8		
第7章 If と条件式			8		
第8章 繰り返し			8		
第9章 配列			8		
第10章 プロシージャとファンクション			8		
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)				年度	
時間数は45分換算				2020年度	
				科目コード	
				C-K22	
授業科目名			授業形態		学科・コース
プログラム言語Ⅱ			演習		コンピュータ科 プログラムコース
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	選択A 選択者必修	90	3	坂本 登喜雄
授業の目的・到達目標					
Object 指向 (カプセル化、継承、ポリモフィズム) を利用したプログラミングができる。 クラス、インスタンス及びオブジェクトの作成とその利用ができる。 Windows アプリケーションを作成できる。					
授業の概要					
Java 言語は、Windows,Network,Web 及び Android アプリケーションの作成言語として、広く利用されている。Java 言語の基本知識を習得し、この言語によりアプリケーション開発技術を高める。					
成績評価の方法					
実習中の課題制作の評価に授業態度を加算して、総合評価を行う。					課題 80% 学習意欲 20%
使用テキスト・教材					
Java 第2版 入門編 ゼロからはじめるプログラミング (翔泳社) Java 第2版 実践編 アプリケーション作りの基本 (翔泳社)					
授業内容・授業計画					
入門編		時間数			時間数
1. Java 言語に触れる。		3	3. スレッド		4
2. Java 言語の基本		3	4. ガーベッジコレクション		4
3. 条件分岐と繰り返し		4	5. コレクション		4
4. メソッド		4	6. ラムダ式		4
5. クラスの基本		4	7. 入出力		4
6. クラスの一步進んだ使い方		4	8. JavaFX による GUI アプリケーシ ョン		4
7. 継承		4	9. グラフィックスとマウスイベント		4
8. 抽象クラスとインターフェース		4	10. ネットワーク		4
実践編					
1. パッケージと JavaAPI		2	11. 一步進んだ Java プログラミング		4
2. 例外処理		2	Windows アプリ作成		20
その他			関連科目		
*実務経験のある教員が担当する科目である					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	C-K23
授業科目名		授業形態		学科・コース	
プログラム言語Ⅲ		演習		コンピュータ科 プログラムコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	選択A 選択者必修	60	2	青木 伴暢
授業の目的・到達目標					
HTML と PHP の違いを明確にしたうえで、PHP が使われる場面とその仕組みを理解する。その後、PHP の基本構文を学習し、單元ごとに演習を行いながらその記述方法を習得する。最後に、フォームの実装を行い、自分の手でフォームによるデータ操作ができるようになることを目標とする。					
授業の概要					
Web アプリケーションで用いられる PHP を学習する。基本構文から、SQL を使ったデータの挿入や取出まで、Web アプリケーション開発の基礎力を養う。なお、この授業は「ビジネスアプリケーション」を行うための前提授業となる。					
成績評価の方法					
演習課題及び学習意欲（出欠状況・授業態度）を総合評価したうえで決定する。 演習課題は、各 Chapter で制作した課題の提出を基本とする。					課題 80% 学習意欲 20%
使用テキスト・教材					
よくわかる PHP の教科書 [PHP7 対応版] (マイナビ出版)					
授業内容・授業計画					
Chapter.2 PHP を使う準備をしよう XAMPP インストール	2			UPDATE ・ DELETE SELECT	
Chapter.3 PHP の基本を学ぼう 文字列表示・演算子 変数・繰り返し・配列 条件分岐・ファイルの読み書き フォーム・エラーチェック ページ遷移・Cookie セッション ファイルのアップロード	12			オートインクリメント 複雑な条件操作	
Chapter.4 データベースの基本を学ぼう MySQL の使用 データベースの操作 SQL 文 CREATE ・ INSERT	10			Chapter.5 Web システムを作ろう データベース接続 (PDO)	16
				Chapter.6 掲示板を作成する	20
その他			関連科目		
*実務経験のある教員が担当する科目である					

シラバス (授業概要)				年度	
時間数は45分換算				2020年度	
				科目コード	
				C-K24	
授業科目名			授業形態		学科・コース
プログラム言語Ⅳ			実習		コンピュータ科 プログラムコース
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	選択A 選択者必修	60	2	杉山 光
授業の目的・到達目標					
個人でAndroidを用いたアプリ制作ができる。 グループ内で協力してAndroidを用いたアプリ制作ができる。					
授業の概要					
Androidを用いたアプリ制作を基本とする。授業の前半は講義形式でAndroidアプリ開発の基本を学習し、後半はグループとなりAndroidアプリの制作を行う。					
成績評価の方法					
実習で作成したプログラム評価し、授業態度を加算して総合評価を行う。					課題 70% 学習意欲 30%
使用テキスト・教材					
「やさしいAndroidプログラミング」(SOFTBANK Creative)					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. Androidアプリケーションの概要と仕組み			5		
2. Androidアプリケーション開発基礎			15		
3. Androidアプリケーション開発演習			10		
4. Androidアプリケーション制作			30		
その他			関連科目		
*実務経験のある教員が担当する科目である					

シラバス (授業概要)				年度	
時間数は45分換算				2020年度	
				科目コード	
				C-K25	
授業科目名			授業形態		学科・コース
ビジネスアプリケーション			演習		コンピュータ科 プログラムコース
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	選択A 選択者必修	60	3	青木 伴暢
授業の目的・到達目標					
Web アプリケーション開発の中で、チームメンバーを統率し、各自の役割分担や進捗管理を行い、円滑に開発が進むようにするためのマネジメント能力を身につけることを目標とする。					
授業の概要					
PHP を使った Web アプリケーションの開発演習を行う。教員が課題を提示、3~4名のグループを編成し、要件定義から実装、テスト検証に至るまで、ウォーターフォールモデルに則して開発を進めていく。グループ演習となるため、開発技術だけでなく、各自の役割やプロジェクトのマネジメント能力が重要となる。					
成績評価の方法					
演習課題及び学習意欲（出欠状況・授業態度）を総合評価したうえで決定する。					課題 80% 学習意欲 20%
使用テキスト・教材					
・スライド資料（担当教員自作）					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. オリエンテーション及び課題提示			2		
2. 要件定義（要件定義書）			4		
3. 外部設計（画面設計書・画面遷移図）			10		
4. 内部設計（データベース設計書 ・テーブル定義書）			10		
5. 詳細設計			4		
6. 実装・プログラミング			20		
7. テスト			4		
8. プレゼンテーション			6		
その他				関連科目	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	C-K26
授業科目名		授業形態		学科・コース	
システム開発演習		講義・演習		コンピュータ科 プログラムコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	選択A 選択者必修	30	1	渡辺 弘輝
授業の目的・到達目標					
ソフトウェア開発技法である「構造化技法」を取り上げ、実践に近い事例を基に、技法が持つ特長を講義と演習を通して理解し、実践的な設計ができるスキルを養う。また、「オブジェクト指向」の設計についても学習を行う。専門用語の理解、設計書からの読み取り、設計書の修正が出来るようになる。					
授業の概要					
システム開発工程の方式設計～詳細設計の工程の作業について講義と演習課題を通じて学ぶ。グループワークを通して設計書類の加筆・修正を行い、その結果について随時に発表を行う。					
成績評価の方法					
授業の出席、授業態度、演習への取り組み、提出されたドキュメント、テストを通して総合的に判断する。				期末試験	60%
				課題	30%
				学習意欲	10%
使用テキスト・教材					
講師作成資料					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
・開発技法、構造化技法、構造化分析		2	・演習課題①発表&解説		2
・構造化設計、構造化プログラミング、DOA		2	・演習課題②(縮小版)の説明&演習課題②実施(グループワーク)		2
・演習事例紹介、良い例、悪い例の比較		2	・演習課題②実施(グループワーク)		2
・良い例、悪い例の比較結果解説&演習課題①の説明		2	・演習課題②発表 + 演習課題②解説		2
・演習課題①実施(グループワーク)		2	・オブジェクト指向とは		2
・ヒント提示&演習課題①実施(グループワーク)		2	・構造化技法とオブジェクト指向との比較+テスト対策勉強		2
・演習課題①実施(グループワーク)		2	・テスト		2
・演習課題①実践(グループワーク)		2			
その他		関連科目			
*実務経験のある教員が担当する科目である					

シラバス (授業概要)				年度	2020年度
				科目コード	C-K27
授業科目名		授業形態		学科・コース	
情報処理試験対策		講義		コンピュータ科 プログラムコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	選択A 選択者必修	150	5	上杉 徳彦/青木 伴暢
授業の目的・到達目標					
コンピュータ科重点目標である「基本情報技術者試験」の合格に向けた対策授業を行う。 試験に合格できるようになる。					
授業の概要					
前期学習する基本情報関連科目について、復習を中心とした理解度の定着と、基本情報技術者試験の過去問題から傾向と対策を施し、合格を目指した学習を行う。					
成績評価の方法					
出欠席状況、授業態度等を勘案して総合評価する。					学習意欲 100%
使用テキスト・教材					
情報処理試験問題集					
授業内容・授業計画					
			時間数		
基本情報対策授業			120		
模擬試験			30		
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
				C-K28	
授業科目名			授業形態		学科・コース
資格取得講座 I			講義		コンピュータ科 プログラムコース
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	選択A 選択者必修	30	2	高木 健至
授業の目的・到達目標					
デジタル通信に関する知識を習得し、通信に関する実践技術を、工事担任者試験DD3資格取得を目標として学習する。					
授業の概要					
通信技術の基礎となる電気電子、実践的な通信技術を学び、必要となる法規について、問題演習中心に学習する。					
成績評価の方法					
確認試験はテーマごとに行い、この結果と学習意欲等を勘案して総合評価する。					確認試験 70% 学習意欲 30%
使用テキスト・教材					
工事担任者DD3種実戦問題集 (リックテレコム)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
電気通信技術の基礎			端末設備の接続に関する法規		
電気回路、電子回路		5	電気通信事業法		2
論理回路		2	工担者規則、認定等規則、有線		2
伝送理論		3	法、設備令、不正アクセス禁止法		
伝送技術		4	端末設備等規則		2
端末設備の接続のための技術及び理論					
端末設備の技術		4			
ネットワークの技術		3			
情報セキュリティの技術		1			
接続工事の技術		2			
その他			関連科目		
*実務経験のある教員が担当する科目である					

シラバス (授業概要)				年度	2020年度
				科目コード	C-K29
授業科目名		授業形態		学科・コース	
資格取得講座Ⅱ		講義		コンピュータ科 プログラムコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	選択A 選択者必修	30	2	坂本 登喜雄
授業の目的・到達目標					
Oracle Java Bronze 試験の合格を目指す。 Oracle Java Bronze 試験合格のために Java SE 78 問題集を解けるようになる。					
授業の概要					
JAVA SE 78 問題集を実施する					
成績評価の方法					
Oracle の JAVA Bronze 試験と期末試験より年間評価を行う。				課題	80%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
JAVA SE 7/8 Bronze 問題集(インプレス)					
授業内容・授業計画					
JAVA SE 78 問題集を実施する。			時間数	時間数	
1. JAVA 言語のプログラムの流れ			2		
2. データ宣言と使用			4		
3. 演算子と分岐文			4		
4. ループ文			4		
5. オブジェクト指向コンセプト			4		
6. クラス定義とオブジェクトの生成、使用			4		
7. 継承とポリモフィズム			4		
8. 総仕上げ問題			2		
試験			2		
その他				関連科目	
*実務経験のある教員が担当する科目である					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	C-K30
授業科目名		授業形態		学科・コース	
工事担任者試験		講義		コンピュータ科 プログラムコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	選択A 選択者必修	60	4	高木 健至
授業の目的・到達目標					
工事担任者試験 DD3 種の取得を目標とする。 工事担任者試験 DD3 種の取得のために必要な知識を習得し、工事担任者 DD3 種実戦問題集を解けるようになる。					
授業の概要					
通信技術の基礎となる電気電子、実践的な通信技術を学び、必要となる法規について、問題演習中心に学習する。					
成績評価の方法					
確認試験はテーマごとに行い、この結果と学習意欲および期末試験を勘案して総合評価する。				期末試験	60%
				確認試験	20%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
工事担任者DD3種実戦問題集 (リックテレコム)					
授業内容・授業計画					
1. 電気通信技術の基礎		時間数	3. 端末設備の接続に関する法規		時間数
1-1. 電気回路, 電子回路		10	3-1. 電気通信事業法		4
1-2. 論理回路		4	3-2. 工担者規則, 認定等規則, 有線 法, 設備令, 不正アクセス禁止法		4
1-3. 伝送理論		6	3-3. 端末設備等規則		4
1-4. 伝送技術		8			
2. 端末設備の接続のための技術及び理論					
2-1. 端末設備の技術		10			
2-2. ネットワークの技術		6			
2-3. 情報セキュリティの技術		2			
2-4. 接続工事の技術		2			
その他			関連科目		
*実務経験のある教員が担当する科目である					

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
				C-K31	
授業科目名			授業形態		学科・コース
データベース応用			演習		コンピュータ科 プログラムコース
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	選択A 選択者必修	60	2	長谷川 和明
授業の目的・到達目標					
Oracle データベースソフトウェアを使用してデータベースを構築することができる。 Oracle データベースソフトウェア上でSQLを使用し、データ操作をすることができる。					
授業の概要					
オラクル社が提供する教育連携カリキュラムであり、業務で取り扱われている Oracle データベースソフトウェアを、実際にインストール、データベースの構築を通して、SQLを中心に学習を行う。					
成績評価の方法					
試験結果および課題提出、授業態度等を勘案して総合評価する。				期末試験	45%
				課題	45%
				学習意欲	10%
使用テキスト・教材					
スッキリわかる SQL 入門 第2版 ドリル 222 問付き! (スッキリシリーズ)					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. SQLの基本ルール			3		
2. 集合演算子・式と関数			3		
3. 集計とグループ化			3		
4. 副問い合わせ			3		
5. テーブルの結合			3		
6. トランザクション			3		
7. 外部キーと参照整合性			3		
8. データベースをより安全に使う			3		
9. 概念設計・論理設計・物理設計			3		
10. 正規化の手順			3		
11. データベース構築演習			30		
その他				関連科目	

シラバス (授業概要)				年度		
時間数は45分換算				2020年度		
				科目コード		
				C-K32		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
ネットワーク応用			講義/演習		コンピュータ科 プログラムコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	選択A 選択者必修	60	2	杉山 光	
授業の目的・到達目標						
ネットワーク分野において基本情報技術者試験の対策授業で習得した知識をもとに、ネットワークの実践構築を行う。ネットワーク構築シミュレーションソフトを活用して、ネットワーク機器の設定や接続、LAN構築などネットワークに関する応用力を培う。						
授業の概要						
CISCO製のネットワーク機器(スイッチやルータなど)の基本概念を理解することから入り、その機器を使ったLAN構築を演習する。インターネットを中心としたネットワークインフラの仕組みを理解し、機器の設定やケーブリングなど実践的なLANの構築を行う。						
成績評価の方法						
演習課題の提出、小テストおよび期末試験をもとに、総合評価する。					期末試験 50% 課題 40% 学習意欲 10%	
使用テキスト・教材						
プリント配布						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1.1・1.2 ネットワークの基本とTCP/IPの概要・イーサネットLANの基礎			2	4.1 ルータの基本設定と確認		12
1.3 IPv4 アドレッシングの基礎				4.2 ルーティングの基本		8
1.4 TCPとUDP			2	4.3・4.4 スタティックルーティング・ダイナミックルーティング		6
2.1 Cisco デバイスへのアクセス方法			4	7.1 IPv6の概要		2
2.2・2.3 Cisco IOSの操作の基本・Cisco IOSの基本設定			6	7.2 IPv6アドレスの設定と確認		4
3.1 Catalyst スwitchの構造			8			
その他				関連科目		
Cisco Networking Academy						

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	C-K33
授業科目名			授業形態		学科・コース
システムアーキテクト演習			演習		コンピュータ科 プログラムコース
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	選択A 選択者必修	60	2	富張 一郎
授業の目的・到達目標					
<p>大規模および高度化が進む情報システムの開発への方策の1つにオブジェクト指向の考えがあり、一般化してきている。その考えに沿った表記法であるUMLは、開発現場での意思疎通に有効な手段になっている。</p> <p>この講座では、UMLの基礎を学ぶことにより、UMLを活用した分析・設計作業ができるようになる。</p>					
授業の概要					
<p>UMLの主要でかつ適用範囲が広いダイアグラム（ユースケース図、アクティビティ図、オブジェクト図、クラス図、相互作用図、ステートマシン図）に重点を置く。単なる例をもとにした作図および文法を学ぶことにより、UMLの有効性認識と基本文法の体得を狙う。また、設定したテーマで演習を行い、UMLによる分析・設計作業を実践する。グループ活動で行い、astah*ツールを使用する。</p>					
成績評価の方法					
<p>期末試験の結果、演習課題の評価および学習意欲をもとに、総合的に評価する。</p> <p>学習意欲の評価指標としては、基本的な事項を正しく理解出来ているか否の確認を適宜行う。</p>				期末試験	60%
				課題	20%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
「ゼロからわかる UML 超入門 [改訂2版]」技術評論社 ISBN：978-4774190051					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. UML ツール (astah*) のインストール、使用練習		3	12. 演習		6
2. ユースケース図		6	13. UML の概要		2
3. アクティビティ図		4	14. モデル, オブジェクト指向		3
4. オブジェクト図、クラス図		6			
5. 相互作用図		6			
- シーケンス図			(注) 13.および14.は、適宜実施		
- コミュニケーション図					
6. ステートマシン図		4			
7. (演習課題の提示)					
8. 継承		4			
9. 多態性, 抽象クラス, インタフェース		6			
10. 複合オブジェクト, 関連, 汎化・集約		4			
11. その他の図		6			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	C-K34
授業科目名		授業形態		学科・コース	
サーバ構築演習		演習		コンピュータ科 プログラムコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	選択A 選択者必修	60	2	杉山 光
授業の目的・到達目標					
各社サーバの役割を理解し、Linuxサーバを構築することができる。 コマンドラインインタフェース (CLI) を用いてLinuxサーバを操作することができる。					
授業の概要					
ノートパソコンに仮想化環境利用してLinuxを構築する。OSとしてのサーバを構築することから始め、NFSサーバ・DHCPサーバ・DNSサーバ・Webサーバなどの各種サーバアプリケーションを構築する。 サーバ構築に必要な各種導入設定を行いながら、Linuxコマンドライン操作を学習する。					
成績評価の方法					
受講レポート(時限ごとの提出)と実習課題の提出結果および授業態度等を含めて、 期末筆記試験とで総合評価する。筆記試験はノート・受講レポート(ただし自筆に限る)のみ持ち込みを許可する。					期末試験 70% 課題 30%
使用テキスト・教材					
テキスト：はじめてのCentOS8 Linuxサーバエンジニア入門編 自己所有ノートパソコン、@sangi.jp クラスルーム					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 仮想化環境の構築		4	13. Webサーバの構築		6
2. Linuxの導入インストール		4	14. サーバ仮想化		4
3. Linuxの基本操作、コマンドライン		6			
4. ユーザ管理・サービス管理		4			
5. ネットワーク設定(CUI、GUI)		4			
6. セキュリティ設定		4			
7. リモート管理		4			
8. NFSサーバの利用		4			
9. DHCPサーバの構築		4			
10. Windowsファイル共有サーバの構築		4			
11. DNSサーバの構築		4			
12.. メールサーバの構築		4			
その他			関連科目		
・自己所有ノートパソコンの空き容量確認 ・@sangi.jp 個人アカウント利用					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	C-K35
授業科目名			授業形態		学科・コース
キャリアデザイン			講義		コンピュータ科 ビジネスコース
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	富田 美穂子
授業の目的・到達目標					
<p>SPI試験において、企業の求める合格点取得することができる。</p> <p>就職面接において、主体的なコミュニケーション能力を發揮することができる。</p> <p>就職面接において、時事ニュースなど、自らの興味関心を面接官にアピールすることができる。</p>					
授業の概要					
<p>コミュニケーションワークを行い、グループ活動や発言を積極的に行う。</p> <p>一般常識SPI問題集の自習解答を継続して行うことで、筆記試験の対策を行う。</p> <p>毎時間の受講レポート提出を義務付け、出席確認とする。</p>					
成績評価の方法					
期末試験の結果、課題（レポート）、学習意欲を総合評価したうえで決定する。				期末試験	50%
				課題	30%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
プリント配布					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. グループコミュニケーションワーク			4		
2. 合同企業ガイダンス（学校主催）			8		
3. SPI問題集			14		
4. SPI模擬試験			4		
その他			関連科目		
この授業は、特に指示がある場合を除いてノートパソコンやスマートフォンなどの使用を禁止する。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	C-K36
授業科目名		授業形態		学科・コース	
コミュニケーションスキル		講義・演習		コンピュータ科 ビジネスコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	選択B 選択者必修	30	30	武友 久美
授業の目的・到達目標					
基本的なビジネススキルを学び、社会人一年目に良いスタートを切るための準備を行なう。実践の場と、実践に対する改善のフィードバックを繰り返すことで働く自分を具体的にイメージしてもらおう。					
授業の概要					
電話応対、立ち振る舞い、交渉、プレゼンなどを学ぶ。実際に営業で活躍されている方からコミュニケーションのテクニックや商材や商品が売れていく仕組みをレクチャーしてもらおう。プレゼンテーションの資料をつくり、資料を使って実演を行なう。					
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> ・元気な挨拶、はきはきとした対応、感謝の言葉、相手を思いやるコミュニケーションを取ろうと努力しているか ・授業内での学びや気づきを毎回レポートにまとめる ・プレゼンテーションの内容と質 ・授業内での積極性または参加姿勢 				参加姿勢	50%
				レポート内容	25%
				プレゼン内容	25%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1、楽しく働くために必要なもの		4	5、想いが伝わる効果的なプレゼンテーション		4
2、第一印象の大切さ、声で好感度をつくる		4	6、プレゼンテーションをつくろう		8
3、アクティブリスニングと相手を思いやるコミュニケーション		4	7、伝える力		2
4、ビジネスマンに学ぶ「商談術」と体験ワーク		4			
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	C-K37
授業科目名		授業形態		学科・コース	
シクレタリー講座		講義		コンピュータ科 ビジネスコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	選択B 選択者必修	90	6	石黒 いずみ
授業の目的・到達目標					
様々な職種に応用の効く、事務全般に関わる一般常識と接遇マナーを学習し、基本的なビジネススキルを身に付ける。社会人としての話し方、電話の応対ができるようになる。 秘書検定3級取得を目標とする。					
授業の概要					
検定では、理論領域と実務領域の両領域が合格基準を満たすことが必要とされる。理論領域では、必要とされる資質、職務知識、一般知識を、実技領域では、マナー接遇、技能を学習する。実技領域では、演習を取り入れ、実際に役立てられる指導を実施する。					
成績評価の方法					
過去試験問題結果、テキストのレッスン毎に実施する振り返り問題結果、学習意欲、授業態度を勘案して総合評価する。				期末試験	60%
				課題	20%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
「クイックマスター」(早稲田教育出版) 「実問題集」(早稲田教育出版)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 第1章 必要とされる資質			第4章 マナー・接遇		
1-1 秘書の心構え		4	4-1 人間関係と話し方		4
1-2 秘書に必要な条件		6	4-2 話し方・聞き方の応用		8
第2章 職務知識			4-3 電話の応対		8
2-1 秘書の役割と機能		6	4-4 接遇		8
2-2 秘書の職務		4	4-5 交際		6
第3章 一般知識			第5章 技能		
3-1 企業の基礎知識		2	5-1 会議と秘書		4
3-2 企業の組織と活動		2	5-2 ビジネス文書と秘書		4
3-3 社会常識		2	5-3 文書管理		4
			5-4 資料管理		4
			5-5 日程管理・オフィス管理		4
			過去問題(8~9回分)		10
その他		関連科目			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	C-K38
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Officeアプリケーション活用I		演習		コンピュータ科 ビジネスコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	選択B 選択者必修	150	5	深澤みほ/梅原 萌子
授業の目的・到達目標					
Microsoft Office 2016 の Word・Excel の操作及び実習を通して、それぞれのアプリケーションの理解を深め、Microsoft 社認定試験合格を目指す。 新入社員研修レベルの Word・Excel の操作ができるようになる。					
授業の概要					
それぞれの科目の4つの分野について、Office アプリケーション基礎で学習した操作を復習しながら、出題傾向について理解を進める。それぞれの問題での理解度をチェックしていく。 テキストに付属している模擬問題を繰り返し学習し、制限時間内に検定合格ラインに到達できる理解と力を深める。					
成績評価の方法					
検定結果および学習意欲、授業態度等を勘案して総合評価する。				小テスト	30%
				課題	40%
				学習意欲	30%
使用テキスト・教材					
よくわかるマスター MOS Word 2016 Expert 対策テキスト&問題集 (FOM 出版) よくわかるマスター MOS Excel 2016 Expert 対策テキスト&問題集 (FOM 出版)					
授業内容・授業計画					
Word (MOS Word 2016 Expert)		時間数	Excel (MOS Excel 2016 Expert)		時間数
1. アプリケーションのインストール		1	1. アプリケーションのインストール		1
2. 文書のオプションと設定の管理		8	2. ブックのオプションと設定の管理		8
3. 高度な機能を使用した文書のデザイン		8	3. ユーザー定義のデータ表示形式やレイアウトの適用		8
4. 高度な機能を使用した参考資料の作成		16	4. 高度な機能を使用した数式の作成		16
5. ユーザー設定の Word 要素の作成		6	5. 高度な機能を使用したグラフやテーブルの作成		6
6. 確認問題		4	6. 確認問題		4
7. 模擬試験問題・検定試験		32	7. 模擬試験問題・検定試験		32
その他			関連科目		
			C-K07_Office アプリケーション基礎		

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
				C-K39	
授業科目名			授業形態		学科・コース
Officeアプリケーション活用II			演習		コンピュータ科 ビジネスコース
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	選択B 選択者必修	120	4	島田 幸紀
授業の目的・到達目標					
データベースソフト (Microsoft Access) の習得と Microsoft Office Specialist Microsoft Access 2016 の資格取得を目指す。データベース管理ができるようになる。					
授業の概要					
データベースの基本からフォーム・クエリの活用、データベースの設計やマクロについても学習していく。					
成績評価の方法					
模擬試験結果、検定試験結果、学習意欲を勘案し総合評価する。				検定試験	70%
				模擬試験	20%
				学習意欲	10%
使用テキスト・教材					
30時間でマスター Access2016 (実教出版) Microsoft Office Specialist Microsoft Access 2016 対策テキスト& 問題集 (FOM 出版)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.Accessの基本 (フィルター、並べ替え)		4	Microsoft Office Specialist Microsoft		
2.データベースのデータ編集 (外部データ読み込み、画像データ挿入、フォーム)		6	Access 2016 対策		
3.テーブルの操作 (クエリ、集計、SQL)		6	1.データベースの作成と管理		8
4.データベースの設計 (リレーションシップ)		4	2.テーブルの作成		10
5.レポートの印刷		2	3.クエリの作成		10
6.総合演習 (テーブル、フォーム、レポート)		6	4.フォームの作成		10
7.マクロの利用		6	5.レポートの作成		8
8.演習問題		8	6.確認問題		10
			7.模擬試験		20
			8.検定試験		2
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)			時間数は45分換算		年度	2020年度	
					科目コード	C-K40	
授業科目名			授業形態		学科・コース		
アプリケーション応用			演習		コンピュータ科 ビジネスコース		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	後期	選択B 選択者必修	60	2	島田 幸紀		
授業の目的・到達目標							
<p>社会で使われている WORD、EXCEL がビジネスシーンでどのように使用されているかを理解する。WORD では複数ページの印刷物を作成ができ、EXCEL では勤務表、見積書などが作成できるようになる。またソフトなどの使用方法をインストラクションすることができる。</p>							
授業の概要							
<p>1年次の継続授業。1年次に学習した WORD、EXCEL の機能が実務でどのように使われているかを確認しながら復習する。インストラクションの単元では、自らテキストを作成し、クラスメイトを受講生と見立てて授業を行う。</p>							
成績評価の方法							
分野ごとにテストを行う。インストラクションのマニュアル作成、指導姿勢、学習意欲などを勘案する。					期末試験	40%	
					課題	40%	
					学習意欲	20%	
使用テキスト・教材							
プリント配布							
授業内容・授業計画							
EXCEL			時間数	WORD			時間数
1. 日付/時刻関数、表示形式、シート保護			2	11. 差し込み印刷			4
2. PHONETIC 関数、検索行列関数			2	12. インデント、タブ			2
3. CEILING 関数、FLOOR 関数			4	13. セクション区切り			2
4. NETWORKDAYS 関数			2	14. スタイルと目次			4
5. 外部データの取り込み			2	15. 文章の視覚化			4
6. 小計、ピボットテーブル			2	16. 分野テスト			2
7. 金種計算			4	インストラクション			
8. 文字列関数			4	17. マニュアル、準備データ作成			8
9. アンケート分析			4	18. インストラクション実施			6
10. 分野テスト			2				
その他				関連科目			
				C-K07_Office アプリケーション基礎			
				C-K38_Office アプリケーション活用 I			

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
				C-K41	
授業科目名			授業形態		学科・コース
VBA入門			講義・演習		コンピュータ科 ビジネスコース
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	選択B 選択者必修	60	2	石黒 いずみ
授業の目的・到達目標					
即戦力として Excel を使いこなす事が出来るよう ExcelVBA を使用し、簡易プログラムやマクロについての知識や技術を身に付ける。定型業務などで簡単なプログラムを組むことで、仕事の効率化を図ることが出来るようになる。					
授業の概要					
最初に、手順を記録して作成する「マクロの記録」機能を習得する。マクロと ExcelVBA を使い分けて、効率の良いプログラム作成が出来るような力を養う。例題を解いた後、演習を行う。繰り返し演習を行うことにより、プログラムの意味を理解することが出来るようになる。					
成績評価の方法					
課題提出、期末試験、学習意欲を勘案して総合評価とする。					期末試験 70%
					課題 20%
					学習意欲 10%
使用テキスト・教材					
例題 30+演習問題 70 でしっかり学ぶ ExcelVBA 標準テキスト (技術評論社)					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1.マクロと VBA			4		
2.変数・配列とステートメント			6		
3.プロシージャと VBA 関数			6		
4.セルの操作			6		
5.ワークシートの操作			6		
6.ワークブックとファイルの操作			6		
7.データベース処理			6		
8.ユーザーフォームの作成			6		
9.確認問題			7		
10.演習問題			7		
その他				関連科目	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	C-K42
授業科目名		授業形態		学科・コース	
クラウドアプリ入門		講義		コンピュータ科 ビジネスコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	選択B 選択者必修	30	1	青木 伴暢
授業の目的・到達目標					
インターネットを利用したサービスの多くが、クラウドコンピューティングによって実現されている。クラウドとは何か、クラウドの利用方法、クラウドを使った様々なアプリケーションを理解することで、IT技術のインフラとしてのクラウドサービスを利用できるようになる。					
授業の概要					
代表的なクラウドサービスである「Google G Suite」の利用を中心として、その中で提供されているサービスメニューを利用し理解していく。ノートパソコンと学校メールアドレスアカウントを利用することで「Google Apps」サービスを利用できる。実習を通じて多くのサービスを理解していく。					
成績評価の方法					
実習課題の提出結果、学習意欲を勘案して総合評価する。				課題	80%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.クラウドとは/Google Apps とは		2	4.(3)Google Docs		4
2.Google Apps を使ってみる		4	(スプレッドシート、スライド) アンケート結果の集計/発表資料作成		
(1)Google Drive/Google Docs (ドキュメント) 簡単な文章の作成と保存			5.(4)Google Calendar (予定表) WBS を作成してみる。		4
3.(2)Google Form (アンケート) アンケートの作成と企画の作成 企画の発表とアンケートの実施		4	6.(5)Google Site (ホームページ) 職種図鑑の作成		4
			7.Google Apps Scripts を使ってみる (1)Scripts とは		4
			8.(2)Scripts プログラミング		4
その他		関連科目			
各自ノートパソコンとインターネット接続が必要					

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
				C-K43	
授業科目名			授業形態		学科・コース
最新IT技術入門			講義・演習		コンピュータ科 ビジネスコース
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	選択B 選択者必修	30	2	青木 伴暢
授業の目的・到達目標					
RPAの基本的な知識、具体的な活用シーンをイメージできるようになる。 UiPathを活用して業務効率化ツールを作成できるようになる。					
授業の概要					
RPAを活用することで、仕事の効率化を行うことができる。 RPAとは何か、どのような利用シーンがあるか、どう効率化できるかを考えるとともに、ツールの利用方法を学ぶ。					
成績評価の方法					
授業内で作成したツールの提出と演習課題の提出結果、授業態度を勘案して総合評価する。					課題 80% 学習意欲 20%
使用テキスト・教材					
はじめてのRPA UiPath 入門 秀和システム					
授業内容・授業計画					
			時間数		
01 RPAってどういうこと?			2		
02 レコーディングをマスターしよう			4		
03 プログラミングをマスターしよう			4		
04 Excelと連携させて業務を自動化しよう			4		
05 Webサイトと連携させよう			4		
06 業務の自動化に便利なテクニック			4		
課題演習			8		
その他				関連科目	
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)				年度	
時間数は45分換算				2020年度	
				科目コード	
				C-K44	
授業科目名			授業形態		学科・コース
ビジネス文書			講義		コンピュータ科 ビジネスコース
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	選択B 選択者必修	30	2	島田 幸紀
授業の目的・到達目標					
Microsoft Word 2016 を使用し、図や写真などの挿入と配置、デザイン的機能の操作方法を学び、見やすいレイアウト、配色などを学習する。文書デザイン検定1級取得を目指す。簡単なチラシ作成ができるようになる。					
授業の概要					
ビジネス文書の意義や文書の構成などについて知識を習得後、Word を使って文書デザイン検定問題に取り組む。最初に、過去問題を例に問題の解き方(入力方法)などについて学び、後半は問題集を使用し、制限時間内(50分)に、検定合格目標ライン(80%)に到達できるように理解力を深める。					
成績評価の方法					
検定結果および学習意欲、授業態度、課題提出等を勘案して総合評価する。					課題 90% 学習意欲 10%
使用テキスト・教材					
文書デザイン検定1級問題集(日本情報処理検定協会)					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. Word でのビジネス文書作成の復習					
ビジネス文書の意義、文書の構成			2		
図や写真などの挿入、文字列の折り返し			2		
図形描画の作成、書式変更			2		
図の調整・スタイル			2		
2. 模擬問題 模擬1～模擬15			22		
その他			関連科目		
			C-K07_Office アプリケーション基礎		

シラバス (授業概要)			時間数は45分換算		年度	2020年度
					科目コード	C-K45
授業科目名			授業形態		学科・コース	
カラーコーディネイトI			演習		コンピュータ科 ビジネスコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	選択B 選択者必修	30	1	小長谷 由紀子	
授業の目的・到達目標						
<p>色彩に関する基礎知識を学習する。色の組み合わせによる印象や色もたらす効果など、生活の中で切り離すことができない色彩について学習する。</p> <p>送りの意図が受け手に正確に伝わるとカラーリングができるようになる。</p>						
授業の概要						
色のしくみと衣食住の中のさまざまな不思議な見え方や効果を発見する。自分の生活や好きなことに活かすことができるように、配色カードを使いながら効果的な配色法を習得する。						
成績評価の方法						
学習意欲、課題、小テストを総合評価する。※忘れ物は減点対象とする。					学習意欲	40%
					課題	30%
					小テスト	30%
使用テキスト・教材						
色彩活用ライフケアカラー検定3級公式テキスト (角川学芸出版) 配色カード、はさみ、のり						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1.	5章	色のしくみ	2			
2.	5章	色の三属性	2			
3.	5章	トーン	2			
4.	5章	色彩心理・5章テスト	2			
5.	6章	配色の基本	2			
6.	6章	配色の応用・6章テスト	2			
7.	1章	ファッションカラー	2			
8.	2章	フードカラー	2			
9.	3章	インテリアカラー	2			
10.	4章	ライフケアカラー	2			
11.		ワークショップ	10			
その他				関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	C-K46
授業科目名		授業形態		学科・コース	
カラーコーディネイトⅡ		講義 演習		コンピュータ科 ビジネスコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	選択B 選択者必修	30	1	小長谷 由紀子
授業の目的・到達目標					
1年次に学習した色の基礎知識を基に、「衣・食・住・心」のテーマをさらに深く掘り下げ、知識を得た証として、ライフケアカラー検定3級を受験します。応用編としての資料作りは、統一感があつて見やすく、要点はわかりやすい、説得力のある良い資料ができることを目標とします。					
授業の概要					
上述のテーマ・目標に沿って、下記の通り細目を設け、それぞれの回を講義した後は小テストを実施し、7月に実施されるライフケアカラー検定3級の受験に合わせた対策(過去問題)を行います。制作物に関しては発表の機会を設け、レポート提出を行う場合もあります。					
成績評価の方法					
過去問題の到達点、学習意欲(出欠状況・授業態度)を総合評価したうえで決定します。				資格取得	40%
				問題	40%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
色彩活用ライフケアカラー検定3級公式テキスト 配色カード、はさみ、のり					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. [第1章] ライフケアカラー		1	5. [第5章] ファッションカラー		
2. [第2章] 色の基本			「衣」と色		1
色のしくみ		1	コーディネイト		1
色の三属性		1	6. [第6章] フードカラー		
トーン		1	「食」と色		1
色名		1	テーブルコーディネイト		1
光と色		1	7. [第7章] インテリアカラー		
3. [第3章] 色の効果			「住」と色		1
色の心理的効果		1	インテリアコーディネイト		1
色のイメージと効果		1	「安全」のための色づかい		1
4. [第4章]			8. 資料作り		4
配色の基本的な考え方		1	9. 過去問題		8
色相配色		1			
トーン配色		1			
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	C-K47
授業科目名			授業形態	学科・コース	
英会話			演習	コンピュータ科 ビジネスコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	選択B 選択者必修	30	2	Bruce Harris
授業の目的・到達目標					
修学旅行に必要な基本的な英会話を学習し、簡単な会話が出来るようになる。					
授業の概要					
テキストに沿って、学習する。 CDからのヒアリングによって、問題を解き、答え合わせをする。 WORKBOOKをやり、残った分は宿題とする。					
成績評価の方法					
WORKBOOKの宿題、最後の授業内での英会話テスト結果を総合評価する。				会話試験	50%
				宿題	50%
使用テキスト・教材					
In Company Elementary Student's Book CEF Level A1-A2 Macmillan					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 自己紹介			2	12. Carry-on travel	2
2. Who are you?			2	13. The weather	2
3. I'm on the train			2	14. Car hire	2
4. Eating out			2	15. 会話レッスン (試験)	2
5. Case study discussion			2		
6. The conference			2		
7. Can you or can't you?			2		
8. Franchises			2		
9. Hotels			2		
10. Case study discussion: Incentives			2		
11. A good day?			2		
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)				年度		
				2020年度		
				科目コード		
				C-K48		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
商業・会計			講義		コンピュータ科 ビジネスコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	選択B 選択者必修	30	4	小田切 克子	
授業の目的・到達目標						
社会保険、所得税、相続などの基本的な知識を学び、ファイナンシャル・プランニング技能検定3級学科の合格を目指す。身近にある、社会保険の仕組みが説明でき、金利計算や所得税の計算ができるようになる。						
授業の概要						
ファイナンシャル・プランニング技能検定の範囲である6分野の基本的な用語や仕組みを理解する。単元ごと基礎用語の理解度を図る小テストを実施するため家庭での自主学習も必要である。過去問題を繰り返し解き、ファイナンシャル・プランニング技能検定を取得する。						
成績評価の方法						
単元ごとに実施する小テストの結果、過去試験問題結果、学習意欲と授業態度を勘案して総合評価する。				小テスト	20%	
				期末試験	60%	
				学習意欲	20%	
使用テキスト・教材						
みんなが欲しかった教科書3級 (20・21年版) TAC 出版 みんなが欲しかった問題集3級 (20・21年版) TAC 出版						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
第1章 ライフプランニングと資金計画 6つの係数、社会保険、教育資金			8	過去問題対策 (9回分)		12
第2章 リスク管理 生命保険、損害保険、個人年金			8			
第3章 金融資産運用 債券、株式、投信、外貨			8			
第4章 タックスプランニング 所得税			8			
第5章 不動産 建築基準法、不動産に関する税			8			
第6章 相続・事業承継 相続税、贈与税			8			
その他			関連科目			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	C-K49
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ファイナンシャルプランニング		講義		コンピュータ科 ビジネスコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	選択B 選択者必修	90	6	小田切 克子
授業の目的・到達目標					
社会人として必要な知識である、年金、保険、金融、所得税、不動産、相続の学習をする。FP3級（実技）合格を目指す。老齢基礎年金受給額、建ぺい率・容積率、相続税額の計算ができるようになる。					
授業の概要					
1年次からの継続授業。FP3級（学科）の合格を前提に、実技試験の対策を行う。1年次に学習した内容を復習し、過去問題を解説する。年金、民間保険、所得税などの実務に即した考え方を理解する。過去問題を繰り返し解くことで、実技合格を目指す。					
成績評価の方法					
小テスト、期末テストを行い、学習意欲と授業態度を勘案する。				期末試験	60%
				小テスト	20%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
みんなが欲しかった教科書3級（19・20年版）TAC出版					
みんなが欲しかった問題集3級（19・20年版）TAC出版					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
第1章ライフプランニングと資金計画	10	第5章不動産	10		
老齢基礎年金受給額の計算		建ぺい率、容積率の計算			
老齢基礎年金の繰り上げ・繰り下げ受給		登記簿の見方			
第2章リスク管理	10	固定資産税の計算			
確定拠出年金		第6章相続・事業継承	10		
保険証の見方		贈与税基礎控除			
第3章金融資産運用	10	贈与税の特例			
株式の指標（PER・PBRなど）の計算		相続税課税標準			
債券利回り計算		相続税額の計算			
第4章タックスプランニング	10	計算ドリル	4		
確定申告のルール、人的控除、物的控除		過去問対策	26		
給与所得、退職所得、一次所得の計算					
その他	関連科目				
	C-K48_商業・会計				

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	C-K50
授業科目名		授業形態		学科・コース	
資格取得講座 I		講義		コンピュータ科 ビジネスコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	選択B 選択者必修	60	2	梅原 萌子
授業の目的・到達目標					
ハードウェア・情報処理システム・企業活動などの基本的な知識を学び、ITパスポート試験の合格を目指す。ITに関する基礎的な知識を獲得することで、ニュースや会話が理解できるようになる。					
授業の概要					
ITパスポート試験の範囲である10分野の基本的な用語や役割を総合的にまとめる。単元ごと基礎用語の理解度を図る小テストを実施するため家庭での自主学習も必要である。 過去問題を繰り返し解き、ITパスポート試験を取得する。					
成績評価の方法					
単元ごとに実施する小テストの結果、過去試験問題結果、学習意欲と授業態度を勘案して総合評価する。				小テスト	20%
				期末試験	60%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
「栢木先生のITパスポート教室」(技術評論社) 「ITパスポート試験過去問題集」(インフォテック・サーブ)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.ハードウェア 5大装置とCPU/入出力インターフェース		6	7.アルゴリズムとプログラミング データ構造/プログラム言語		4
2.ソフトウェアとマルチメディア ファイル管理/表計算		6	8.マネジメント 開発技術/プロジェクトマネジメント		6
3.システム構成 システムの構成/システムの信頼性		4	サービスマネジメント		
4.ネットワーク 通信プロトコル/インターネットの仕組み		6	9.企業活動と法務		2
5.セキュリティ ユーザー認証/暗号化技術		6	企業会計/関連法規と標準化		
6.データベース データの正規化/排他制御と障害回復		6	10.経営戦略とシステム戦略 ビジネスインダストリ		2
			11.過去問題(9問)		12
その他		関連科目			

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
				C-K51	
授業科目名			授業形態		学科・コース
資格取得Ⅱ			参加型講義		コンピューター科 ビジネスコース
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	15	1	八木 禎実
授業の目的・到達目標					
<p>社会に出た時に使えるコミュニケーションの術を、授業の中で相手と自分の違いを理解し思いやりを言葉で伝えられるようにしていく。働きだしてからではなく学生時代から人間関係を円滑にしてくれるよう家族間の対話や親しい関係の人を大切に作るパーソナリティの構築を身につけメンタルの強化を図る。</p>					
授業の概要					
<p>精神的に強くなれるように、自分の心を知り安定したメンタルの構築づくりを目指す。感情のコントロールが自分自身で、できるようにしていく。毎回グループワークや知る、気づくことを重んじて行う。ストレスの回避や他者を許すことの大切さを目に見える形で学ぶ。</p>					
成績評価の方法					
1年で学んだことの復習 自分の事がどれだけ理解できているか?				期末試験	30%
				課題	10%
				学習意欲	60%
使用テキスト・教材					
西日本出版発行 安部朋子著 ギスギスした人間関係をまーるくする心理学2 エリックバーンのTA 上級編					
授業内容・授業計画					
			時間数		
自我状態のいろいろ			4		
反応が人によって違う理由 汚染って何?			4		
束縛されないエネルギー			4		
生後から自分の人生脚本を知る			4		
ラケット感情の定義			4		
自律のシステム 信条			4		
プロセス脚本			4		
10年後の私			2		
その他			関連科目		